

今更聞けない、
WinActorって何！？

株式会社NTTデータ

1. はじめに
2. 自動記録機能(IEモード)
3. 自動記録機能(エミュレーションモード)
4. 画像識別機能(画像マッチング)
5. WinActor実践ガイドのご紹介

1.はじめに

「RPA」とは

RPAとは

「Robotic Process Automation」の略語で、主にホワイトカラーの業務を人間に代わりロボットが処理することで作業を自動化する取り組みのことを指します。

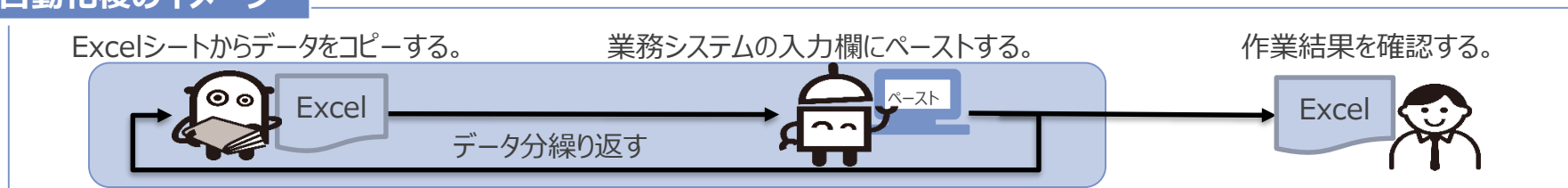
RPAを導入している多くの企業は作業時間の短縮とコストの削減に成功しています。

RPAが得意とする業務例	活用事例
情報が電子化・整理されているもの	Excelファイルのデータをコピーし、業務システムの入力欄にペーストする。
定常的に発生するもの (大量の反復操作が伴うもの)	毎日、一定のタイミングでシステム画面のボタンをクリックして処理を実行する。
処理方針や判断ルールが明確なもの	メールの内容を確認し、決められた条件により、それぞれのシステムに登録する。

自動化前のイメージ



自動化後のイメージ

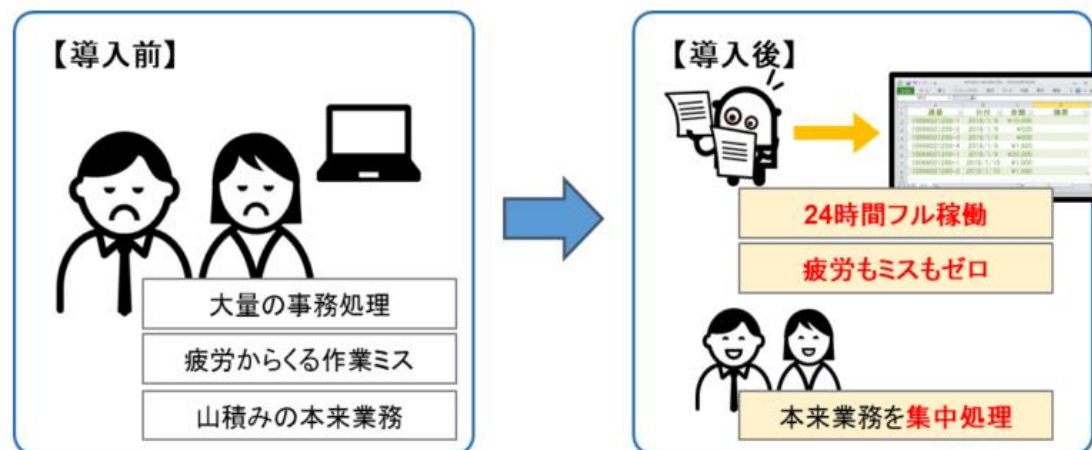


「WinActor」とは

WinActorとは

2010年にNTTグループで研究開発された、Windows端末向けの純国産RPAソリューションです。WinActorは、人が行っている作業の手順をフローチャート図で表現することで自動化します。このフローチャート形式で手順化したものを「シナリオ」と呼びます。プログラミング知識のないユーザでも直感的に操作を行うことができます。WinActorは、人間の作業をただ代替するのではなく、「人間と寄り添い、互いに成長する関係を構築するRPA」を目指しています。

WinActor導入前後のイメージ

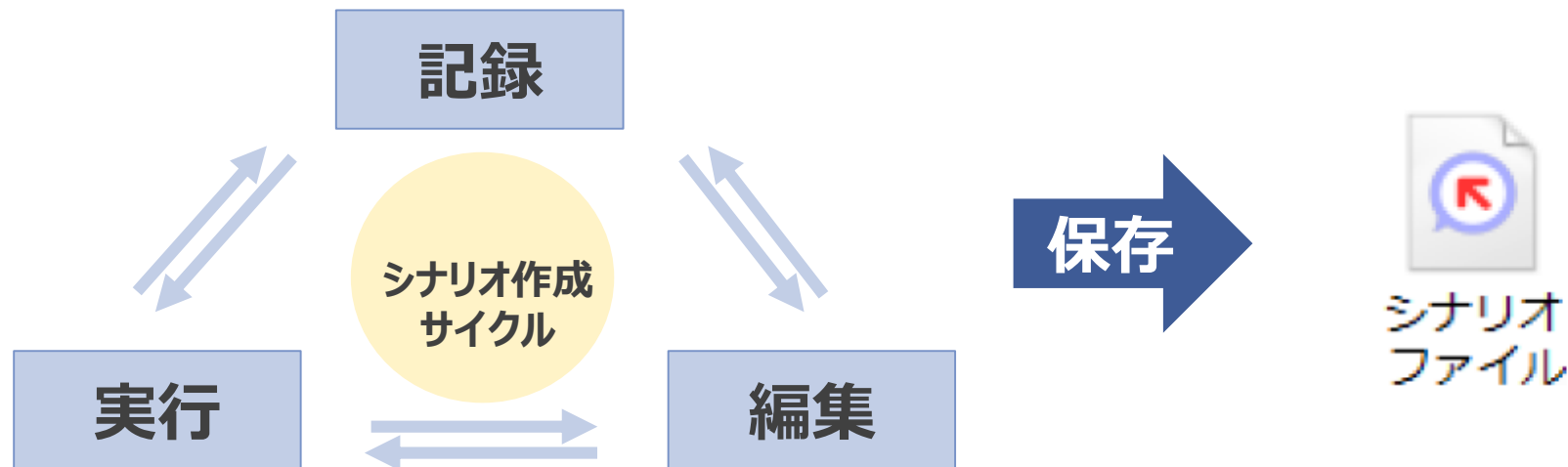


主な3つの機能

WinActorに備わる3つの機能

WinActorには「記録」「編集」「実行」の3つの機能があります。
これらを繰り返しながら、シナリオを作成していきます。
また作成したシナリオは、ファイルとして保存することが可能です。

- ・記録 = ユーザが行った操作をシナリオとして記録します。
- ・編集 = シナリオの順序や繰り返し回数、実行条件などの設定や、処理の追加・削除を行います。
- ・実行 = シナリオに沿って自動操作を行います。



シナリオ実行インターフェース

WinActorでは、以下4つのインターフェースを利用し、シナリオを作成します。



インターフェース	特徴
UI識別型	自動記録を行います。記録対象のアプリケーションごとに4つのモードが用意されています。
画像識別型	指定した画像を操作対象画面から探し出し、同じ画像が見つかったらクリック等の操作を行います。
座標指定型	自動記録を行います。「エミュレーションモード」を使用し、マウス操作の位置、キーボードを押した順序を記録します。幅広いアプリケーションに対応しています。
ファイル向け	Excel・csvファイルの値を取得したり、Excel・csvファイルへ転記する作業で使います。

※自動記録とは、ユーザーが行ったマウス・キーボード操作を記録する機能のことです。

画面構成

初期起動画面

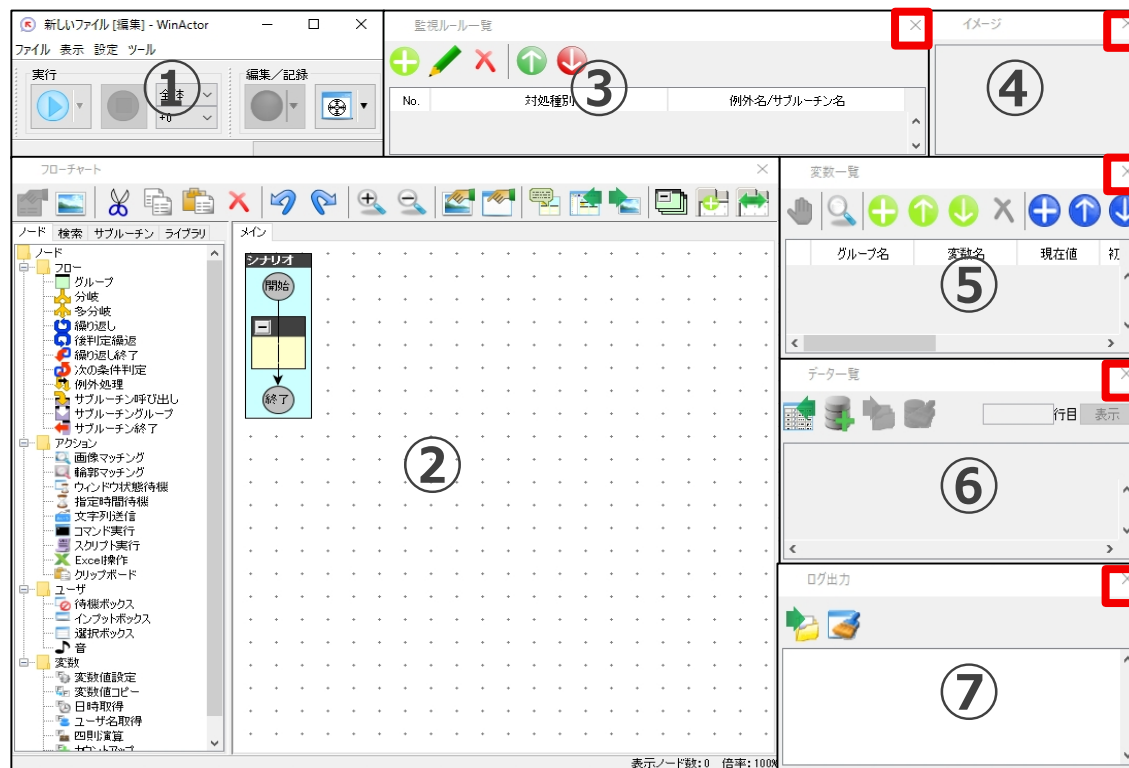
WinActorの初期起動時には、以下の7つの画面が表示されます。

今回は「メイン」画面「フローチャート」画面のみ使用します。

その他の画面は、「閉じる」ボタンで閉じてください。

「メイン」画面を閉じるとWinActor自体が終了してしまうので注意してください。

番号	名称
①	メイン画面
②	フローチャート画面
③	監視ルール一覧画面
④	イメージ画面
⑤	変数一覧画面
⑥	データ一覧画面
⑦	ログ出力画面



メイン画面

シナリオファイルの保存・読み込み操作、シナリオの実行・記録を指示する画面です。



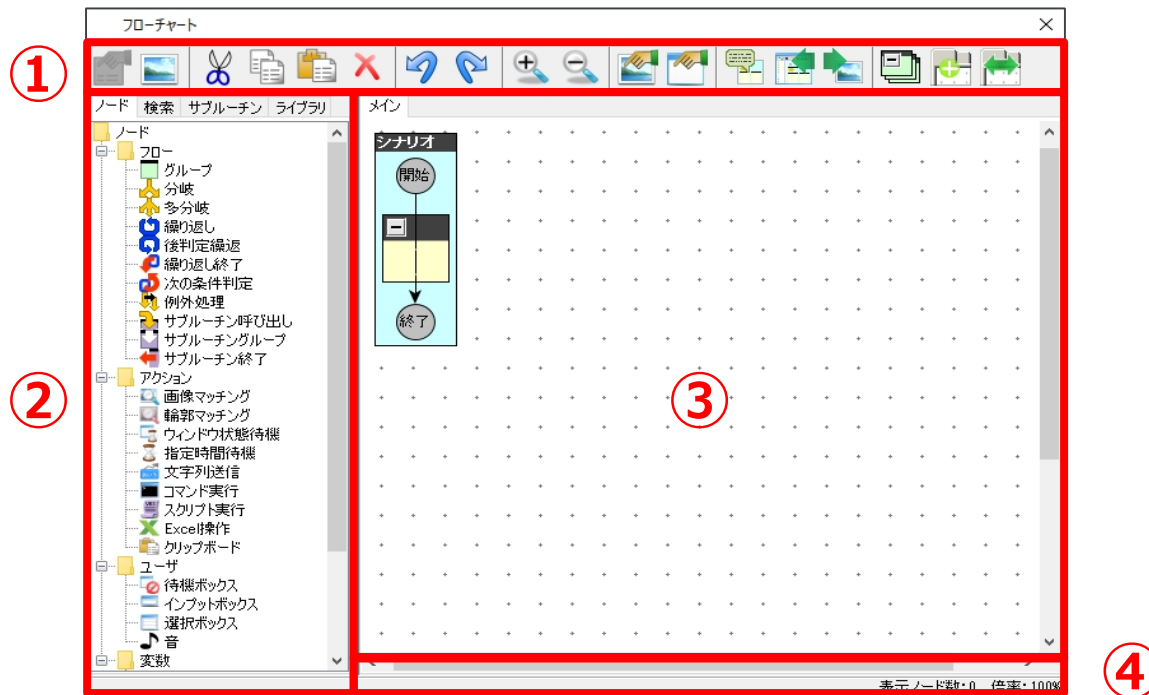
※メイン画面を閉じると
WinActorが終了します。

番号	名称	機能
①	実行ボタン	シナリオを実行します。
②	停止ボタン	実行中のシナリオを停止します。また、シナリオのエラー発生時には「一時停止」状態となり、シナリオの編集や実行が行えなくなるため、その場合もこのボタンで停止します。
③	実行モード	シナリオの実行モードを選択します。 「全体」：シナリオ全体の実行をします。「部分」：選択した部分のみ実行します。
④	速度調整	シナリオの実行速度を調整します。「+0」は待機時間なしで実行します。各ノードが実行される前に待機が実施されます。数値が増加することにより0.1秒ずつ待機時間が増加します。
⑤	記録/記録停止ボタン	シナリオの記録を開始・終了します。 記録対象のアプリケーションを選択すると有効になり、自動的に記録モードが選択されますが右側の▼（記録モード選択メニュー）で他の記録モードに変更することもできます。 ※選択記録対象アプリケーションの種類によって選択できない記録モードがあります。
⑥	記録対象アプリケーション選択ボタン	記録対象となるアプリケーションを選択します。

フローチャート画面

フローチャート画面

シナリオを作成・編集する際に使用する画面です。



番号	名称	説明
①	ツールバー	フローチャートの編集に関するアイコンが配置されています。
②	パレットエリア	「ノード」、「検索」、「サブルーチン」、「ライブラリ」のタブを切り替えて表示します。 シナリオ作成に使用する機能（部品）は「ノード」「ライブラリ」タブに格納されています。
③	フローチャート表示エリア	シナリオをフローチャート図で表示する領域となり、シナリオを編集することができるエリアです。
④	ステータスバー	フローチャートを構成するノードの名称やコメント、表示ノード数、表示倍率を表示します。

初期設定

「変数を自動生成する」について

WinActorでは、取得した値や作業結果などを【変数】に格納します。

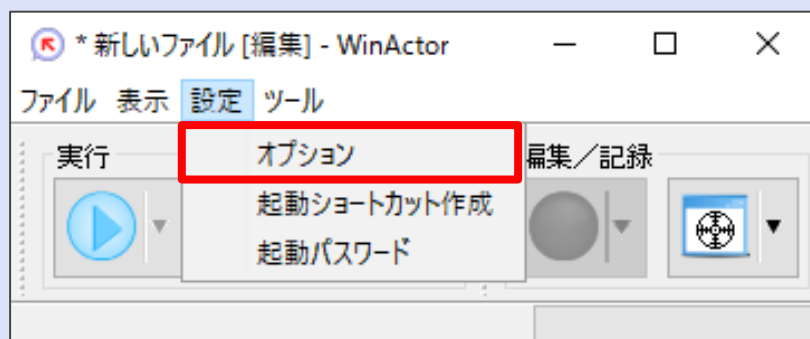
初期値（製品出荷時）には、「変数を自動生成する」という設定がされており、操作の自動記録時に変数名を自動的に決定し、ノードを作成します。

（※任意でない名前の【変数】が作成されます。）

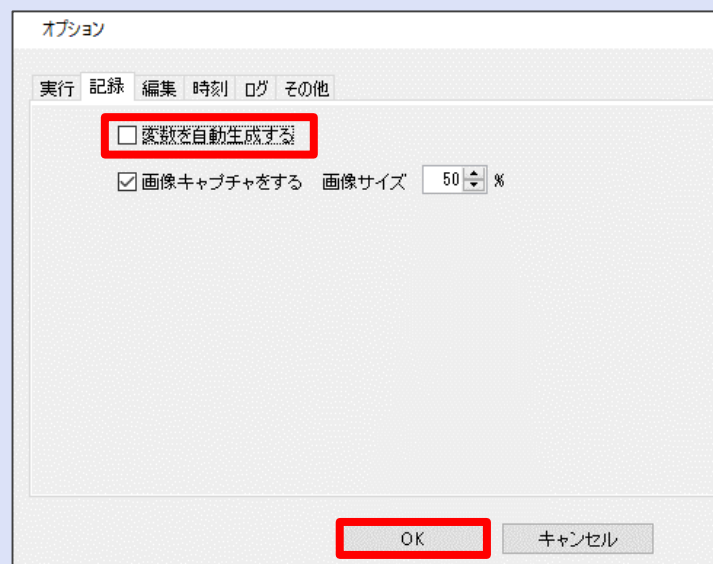
本設定を解除することで、意図しないタイミングで変数が作成されなくなるため、変数の管理が容易になります。また、分かりやすい変数名をつけることでシナリオの修正効率向上にもつながります。

設定解除方法

①「メイン」画面のメニュー「設定」>「オプション」を選択します。

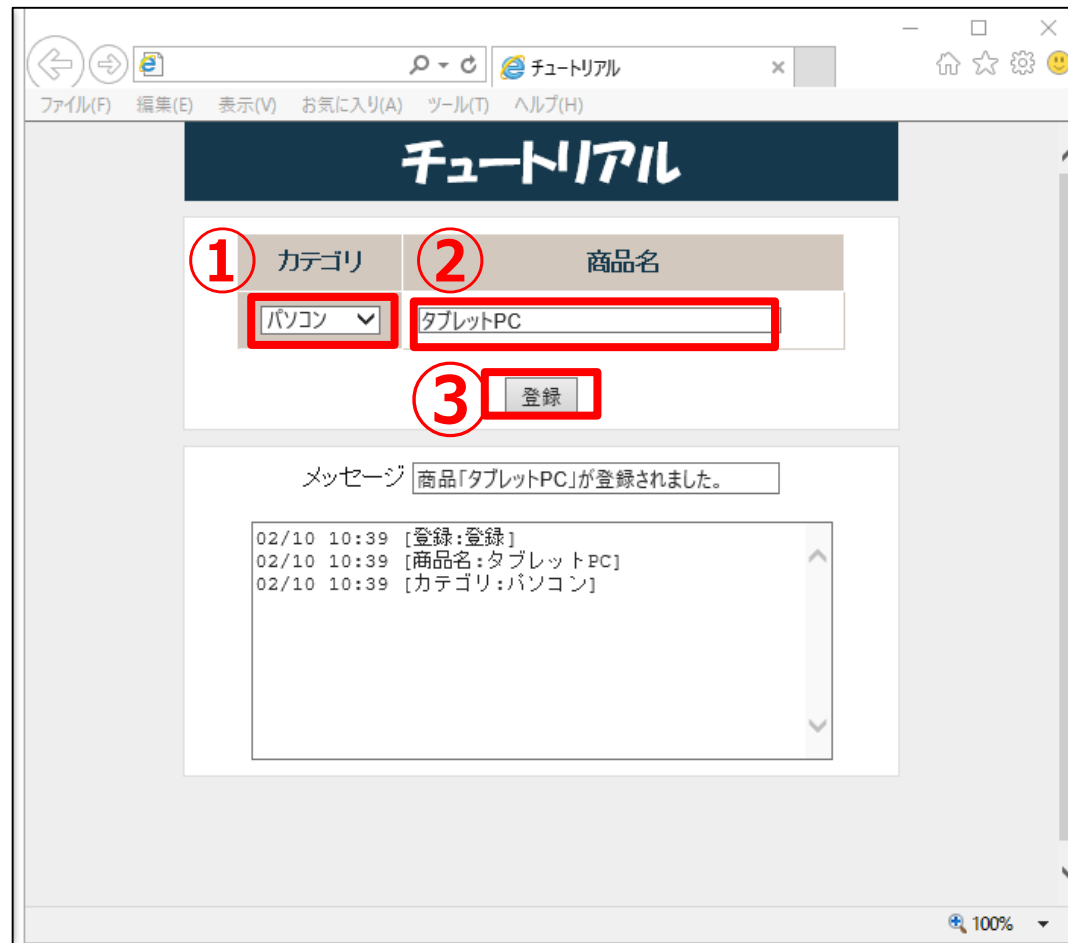


②「オプション」画面の「記録」タブに切り替え、「変数を自動生成する」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



WinActorで自動化する業務について

チュートリアル画面にカテゴリと商品名を登録する業務



2. 自動記録機能(IEモード)

- 4つのインターフェースのうち「UI識別型」に分類されます。
- ユーザーが行った操作を自動記録します。
- Internet Explorerを記録対象とするモードで
画面上のボタンや入力欄に通し番号を付けて管理しています。
操作したボタンや入力欄の番号を記録して自動操作を行います。

2.自動記録機能(IEモード)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、IEモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。

カテゴリのプルダウンリストから「パソコン」を選択し、商品名に「タブレット」と入力後、登録ボタンをクリックするという操作を、自動記録でシナリオ化します。

デスクトップに、

- ・メイン画面
- ・フローチャート画面
- ・チュートリアル.html

を準備します。



右図のような警告が表示された場合は、「**ブロックされているコンテンツを許可(A)**」をクリックします。

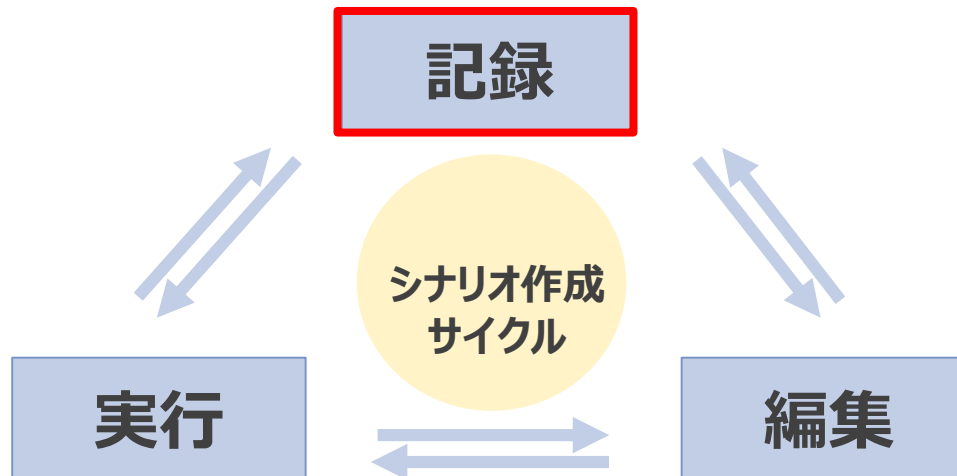
この Web ページはスクリプトや ActiveX コントロールを実行しないように制限されています。

ブロックされているコンテンツを許可(A)

2.自動記録機能(IEモード)


シナリオの記録方法

WinActorに備わる3つの機能



2.自動記録機能(IEモード)

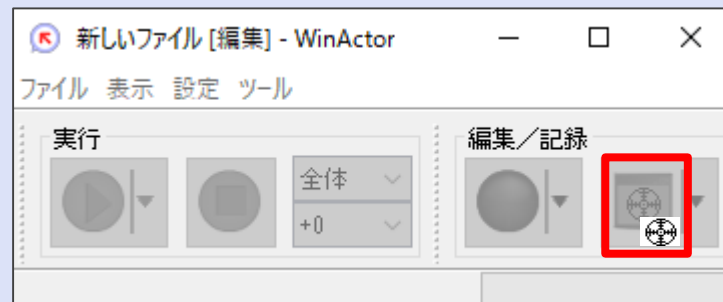
●初めに以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ①「メイン」画面の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③「チュートリアル」の画面をクリックします。
- ④「記録」ボタンが赤色に変わり、記録開始の準備が完了します。

①



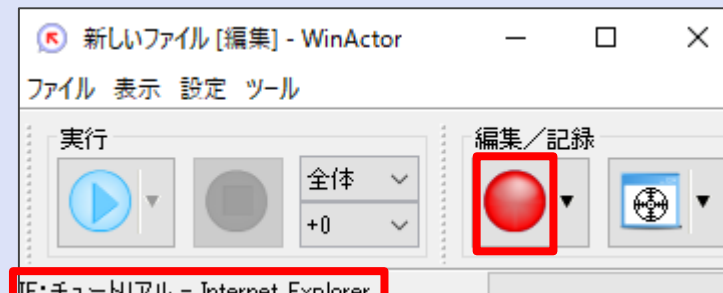
②



③



④



2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でプルダウンリストの操作を記録します。

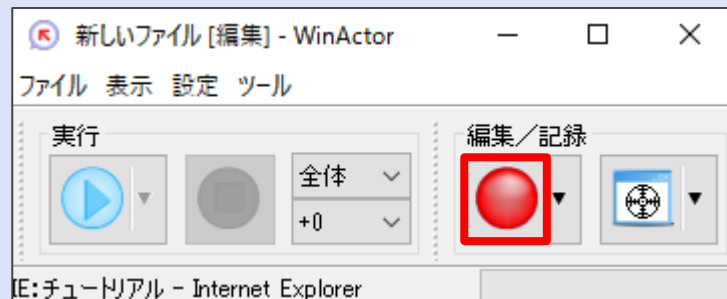
⑤「メイン」画面の「記録」ボタンをクリックします。

⑥「メイン」画面左下のステータスバーに「記録を開始しました。」と表示されていることを確認します。

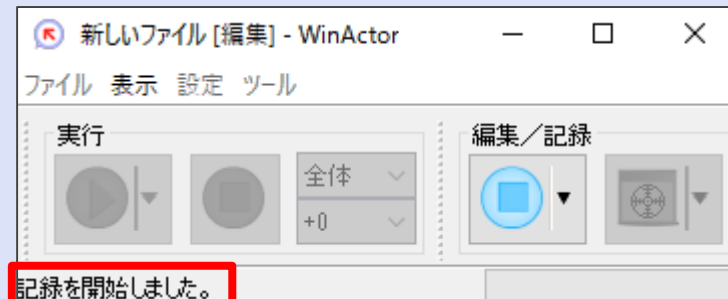
⑦「チュートリアル」画面の「カテゴリ」から「パソコン」を選択します。

⑧操作が「フローチャート」画面に記録されます。

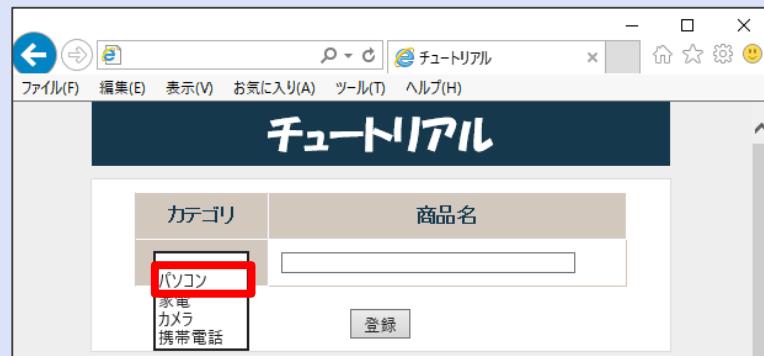
⑤



⑥



⑦



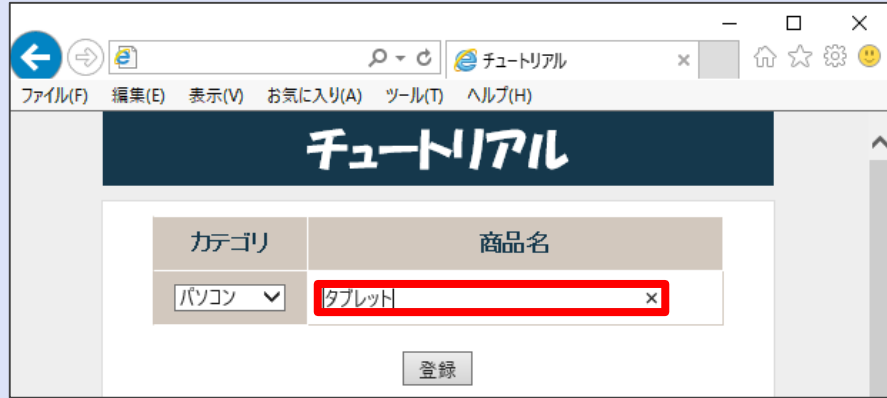
⑧



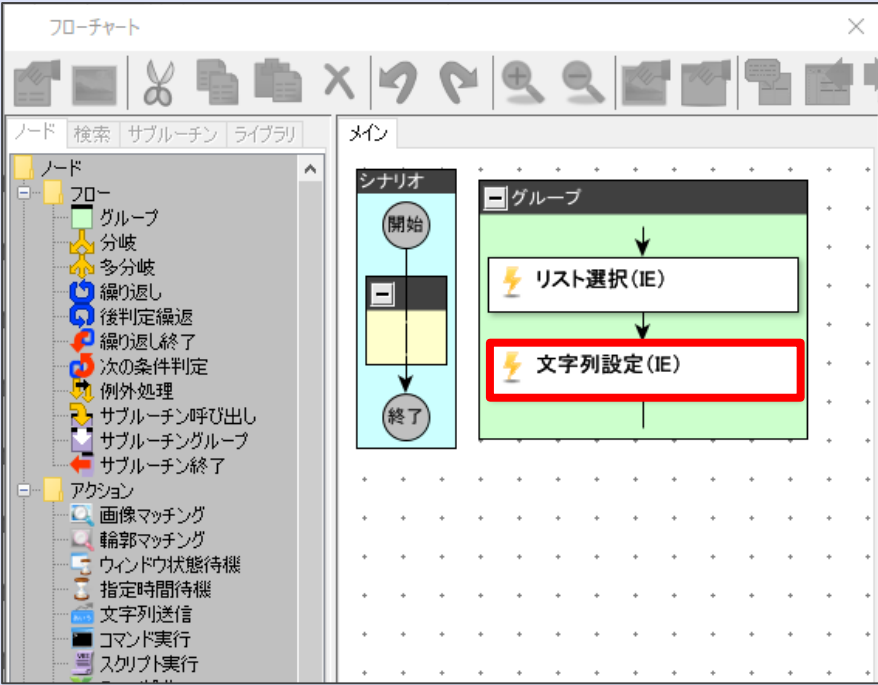
2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でテキスト欄への文字入力操作を記録します。
- ⑨「チュートリアル」画面の「商品名」に文字列「タブレット」を入力します。
入力完了後、カーソルを移動させるために「Tab」キーを押してください。
- ⑩ 操作が「フローチャート画面」に記録されます。

⑨



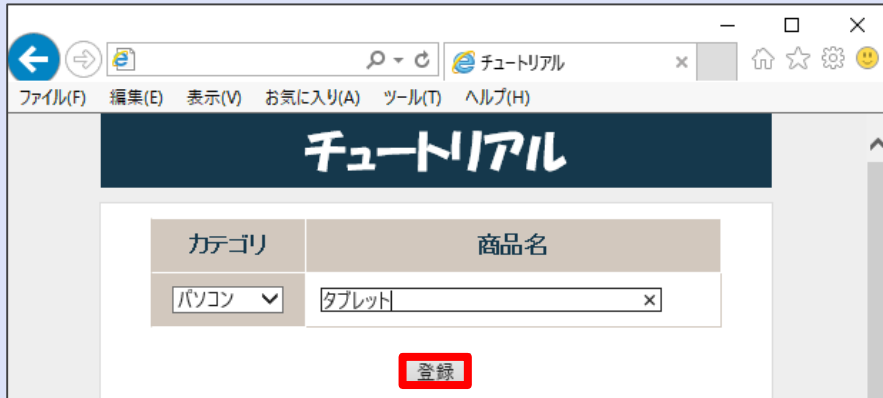
⑩




2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でボタンクリックの操作を記録します。
- ⑪「チュートリアル」画面の「登録」ボタンをクリックします。
- ⑫操作が「フローチャート画面」に記録されます。

⑪



⑫



2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で記録を停止します。

⑬「メイン」画面の「記録停止」ボタンをクリックします。

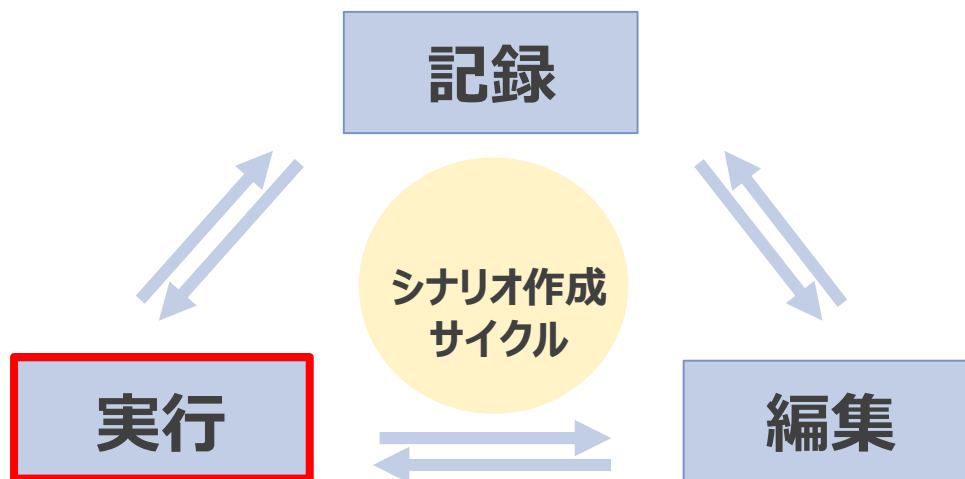
⑭「メイン」画面左下のステータスバーに「記録を停止しました。」と表示されていることを確認します。



2.自動記録機能(IEモード)

記録したシナリオの実行方法

WinActorに備わる3つの機能

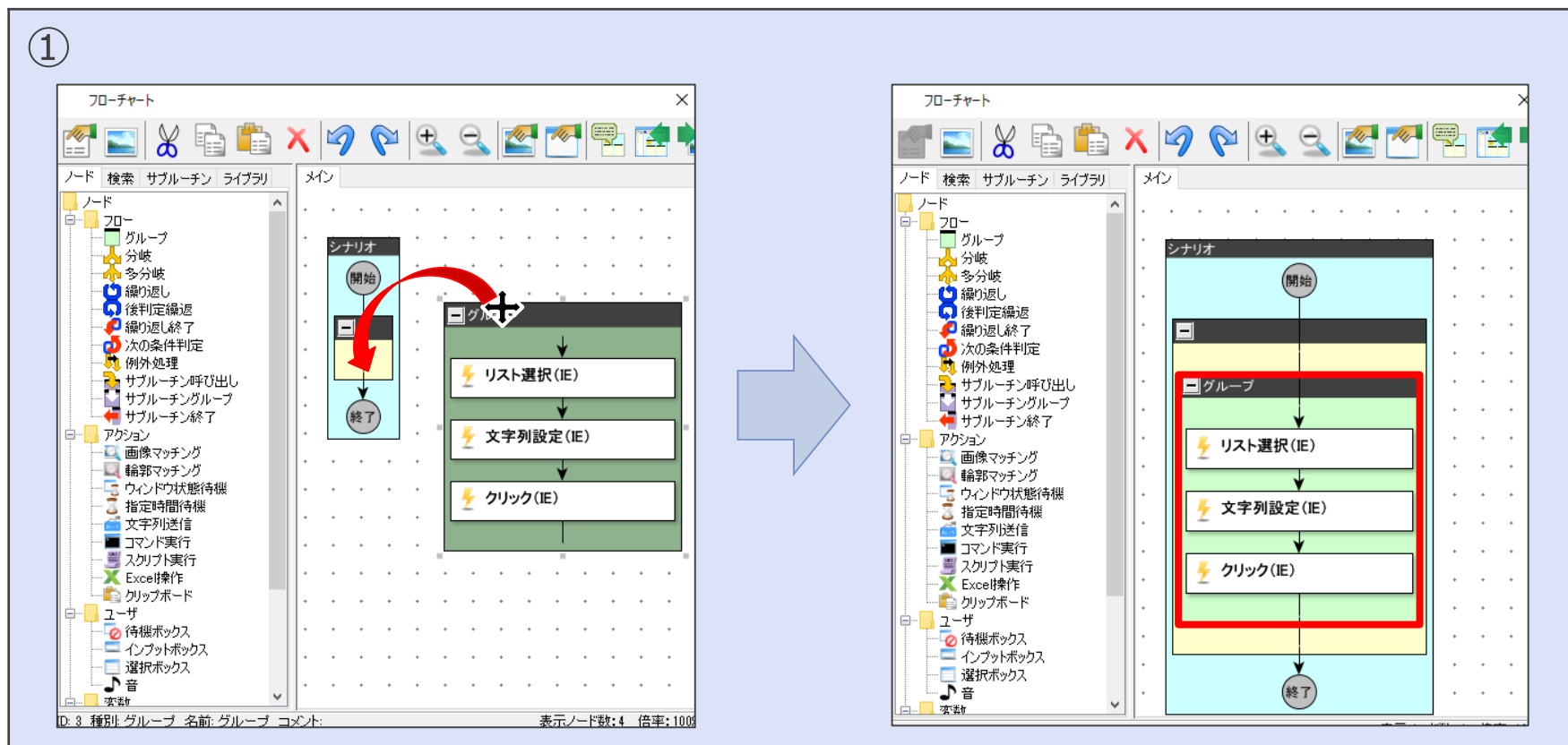


2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でシナリオの実行準備をします。

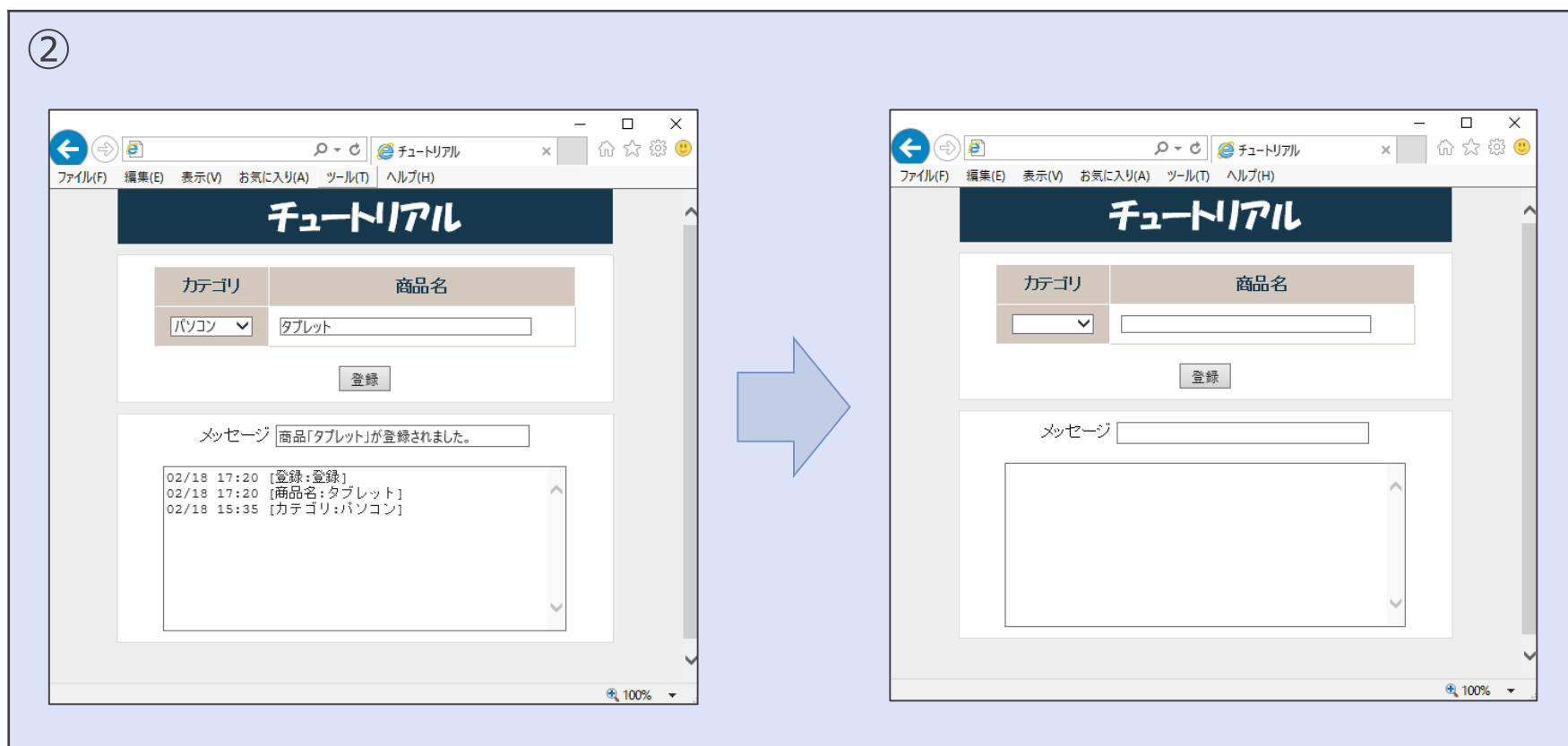
- ①「グループ」を「シナリオ」の【開始】と【終了】の間の黄色の領域へドラッグ＆ドロップします。
「グループ」のタイトルバー上にマウスを合わせ、マウスポインタが十字形に変わったらドラッグ＆ドロップします。

操作のポイントは、マウスポインタを黄色の領域へ合わせドロップすることです。



2.自動記録機能(IEモード)

- 次の手順でシナリオの実行準備をします。
 - ②「チュートリアル」画面上で「F5」キーを押します。
(もしくは、右クリックメニューの「最新の情報に更新」を選択します。)




2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順で記録した自動操作シナリオを実行します。

③「メイン」画面の「実行」ボタンをクリックします。

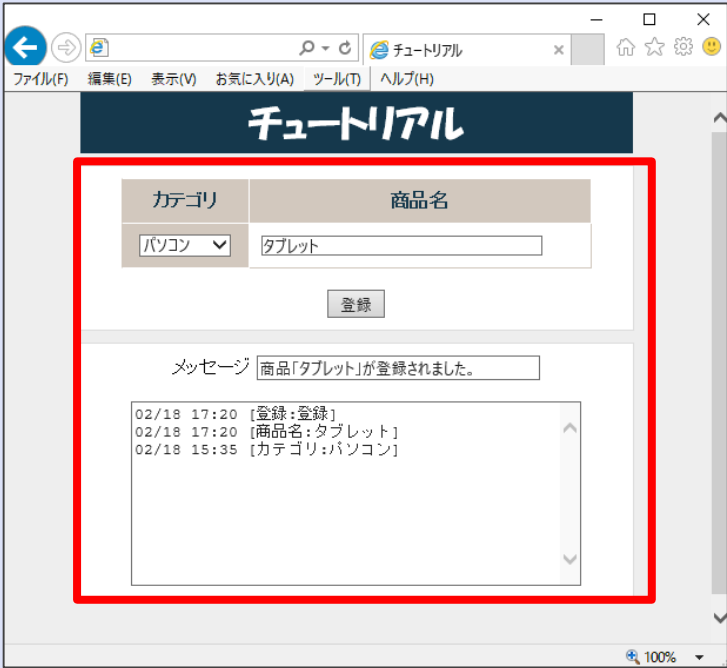
④記録時に行った操作と同じ操作が実行されます。

③



The screenshot shows the WinActor interface for a new file. The '実行' (Execute) button, represented by a blue play icon, is highlighted with a red rectangle. Other buttons like '編集/記録' (Edit/Record) and '記録を停止しました。' (Recording stopped) are also visible.

④



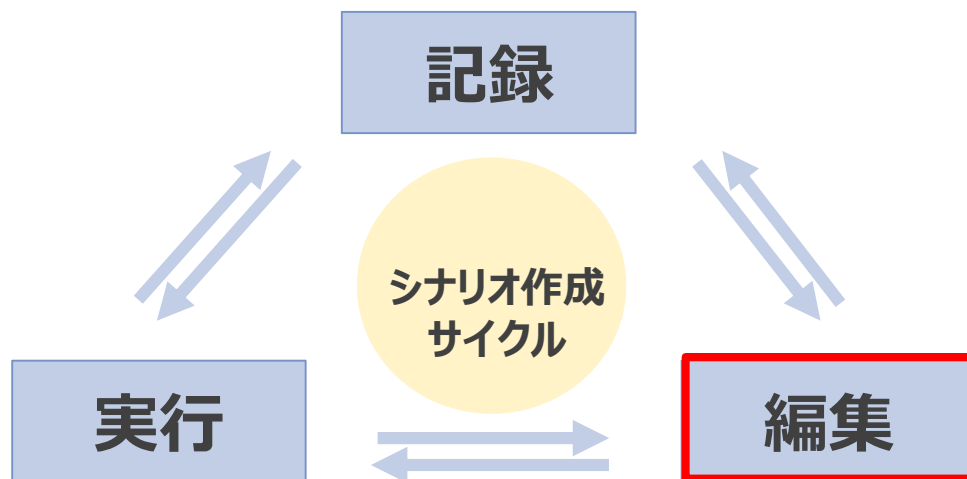
The screenshot shows a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). A form is displayed with 'カテゴリ' (Category) set to 'パソコン' (PC) and '商品名' (Product Name) set to 'タブレット' (Tablet). The '登録' (Register) button is highlighted with a red rectangle. Below the form, a message box says '商品「タブレット」が登録されました。' (Product 'Tablet' has been registered). A log window at the bottom shows the following entries:

日時	操作
02/18 17:20	[登録:登録]
02/18 17:20	[商品名:タブレット]
02/18 15:35	[カテゴリ:パソコン]

2. 自動記録機能(IEモード)

記録したシナリオの編集方法

WinActorに備わる 3 つの機能



2.自動記録機能(IEモード)

●次の手順でシナリオ編集を行います。

- ①「シナリオ」の「リスト選択 (IE)」を選択しダブルクリックをします。
- ②「プロパティ」画面上の「選択内容」を「値⇒パソコン」から「値⇒家電」へ書き換えます。

①

シナリオ

開始

グループ

リスト選択 (IE)

文字列設定 (IE)

クリック (IE)

終了

②

プロパティ-リスト選択 (IE)

基本設定 詳細設定

名前 リスト選択 (IE)

コメント

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo...

対象コントロール指定 設定済

選択内容 値⇒パソコン

● 値 ○ インデックス

プロパティ-リスト選択 (IE)

基本設定 詳細設定

名前 リスト選択 (IE)

コメント

ウィンドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo...

対象コントロール指定 設定済

選択内容 値⇒家電

● 値 ○ インデックス

OK キャンセル

2.自動記録機能(IEモード)

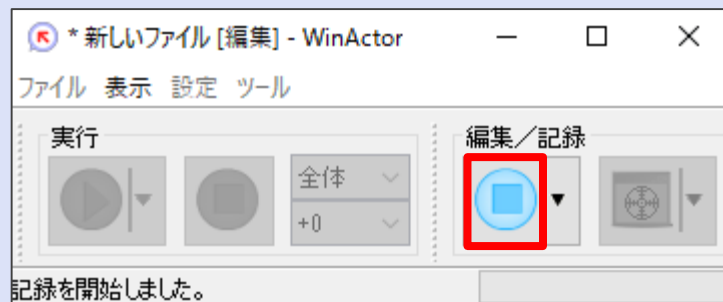
●次の手順で編集したシナリオを実行します。

③「メイン」画面の実行ボタンをクリックします。

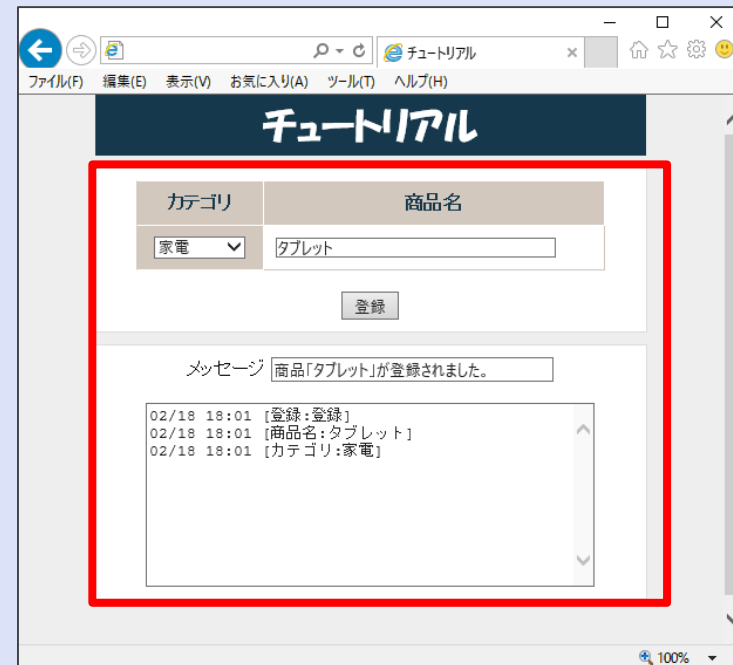
④編集した通り「カテゴリ：家電」が選択されます。

このように「シナリオ」を編集するには対象のノードの「プロパティ」画面を編集します。

③



④

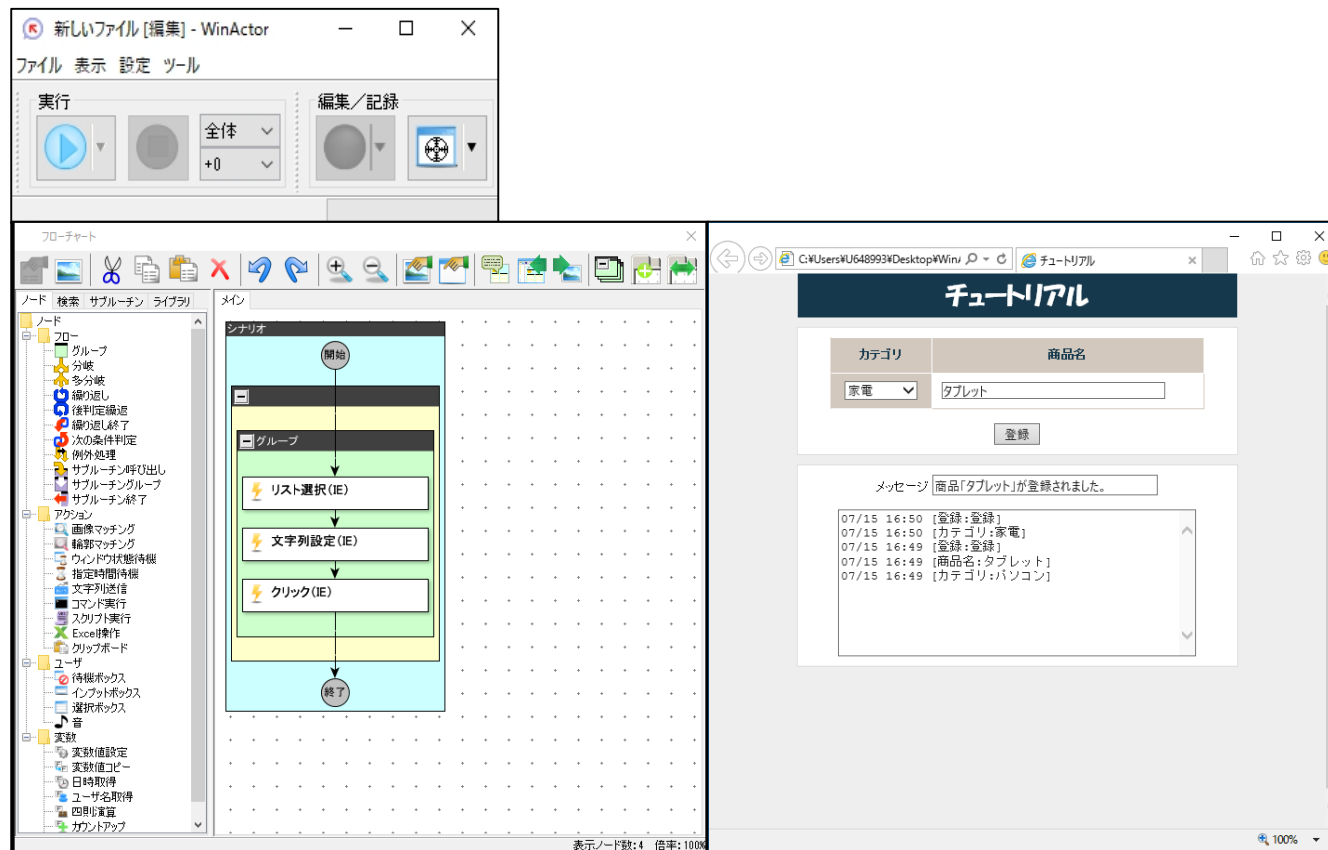


3. 自動記録機能 (エミュレーションモード)

- ・4つのインターフェースのうち「座標指定型」に分類されます。
- ・ユーザーが行った操作を自動記録します。
- ・マウス・キーボード操作を記録する機能です。


3.自動記録機能(エミュレーションモード)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、エミュレーションモードでIE画面を操作するシナリオを作成します。
キーボードショートカットキーでIE画面を初期化する操作を自動記録でシナリオ化します。

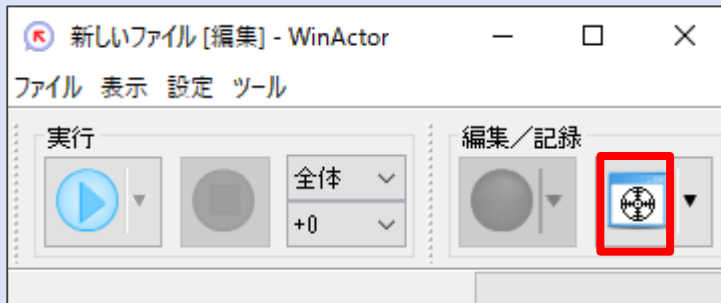


3.自動記録機能(エミュレーションモード)

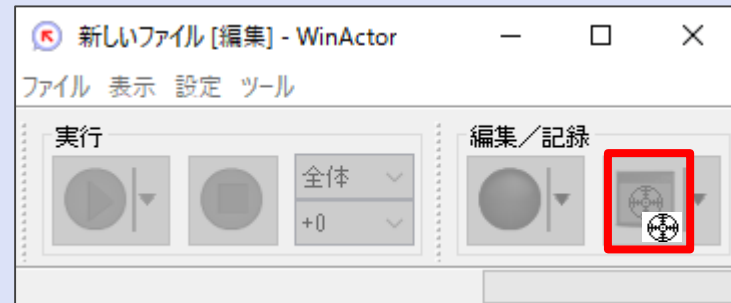
●以下の手順で記録対象の画面を指定します。

- ①「メイン」画面の「記録対象アプリケーション選択」ボタンをクリックします。
- ② マウスポインタの形状が「」に変わります。
- ③「チュートリアル」画面をクリックします。
- ④「記録」ボタンが赤色に変わり、記録開始の準備が完了します。

①



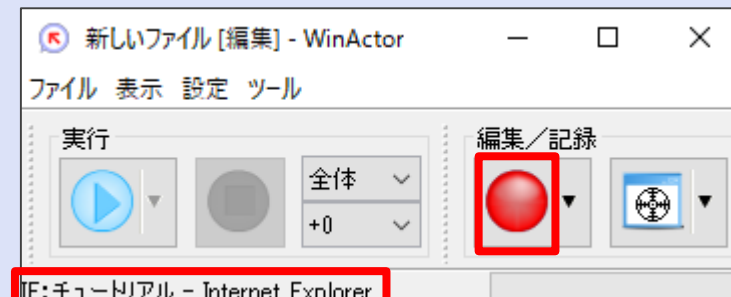
②



③



④



3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順で記録モードをエミュレーションに変更し記録を開始します。

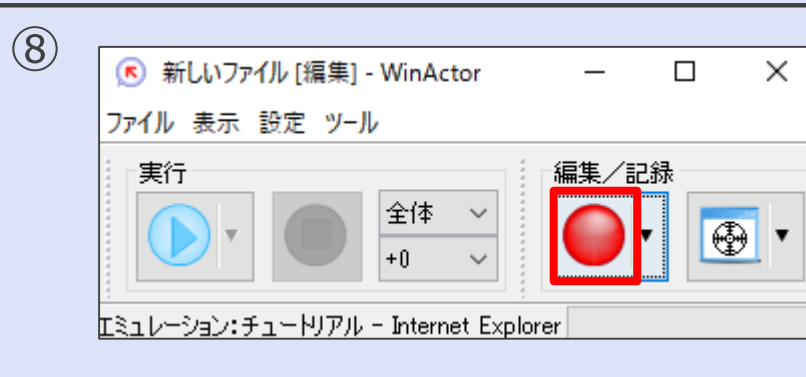
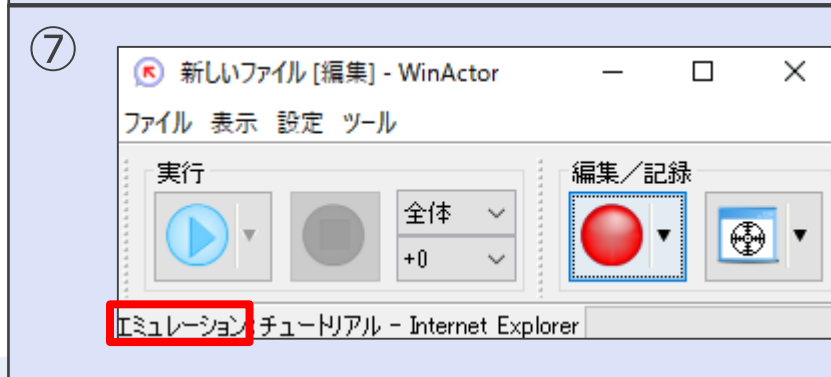
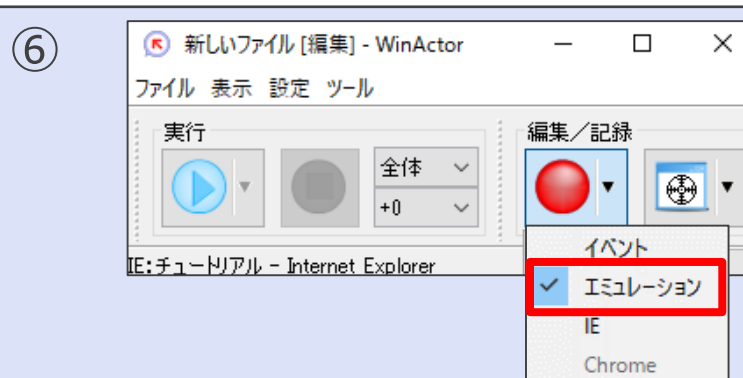
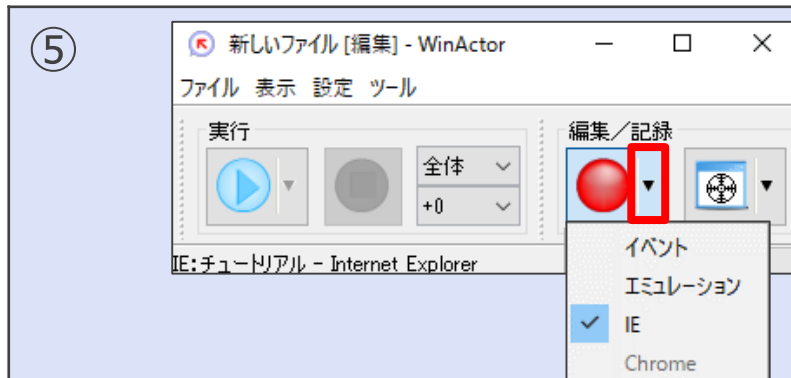
⑤「記録」ボタンの右にある▼をクリックしてプルダウンリストを表示します。

⑥プルダウンリストから「エミュレーション」を選択します。

⑦「メイン」画面左下のステータスバーに「エミュレーション」と表示されていることを確認します。

※再度「記録」ボタンのプルダウンリストを表示すると「エミュレーション」にチェックマーク表示されます。

⑧「メイン」画面の「記録」ボタンをクリックします。



3.自動記録機能(エミュレーションモード)

- エミュレーションの記録を開始すると、記録操作画面が表示されます。記録対象の「チュートリアル」画面は緑色の枠が表示されます。

⑨「操作中の待機時間も記録する」からチェックを外します。

⑨

The image shows a screenshot of a web browser window displaying a 'チュートリアル' (Tutorial) page. The page has a dark blue header with the title 'チュートリアル'. Below the header, there is a form with two input fields: 'カテゴリ' (Category) and '商品名' (Product Name). A '登録' (Register) button is located below these fields. At the bottom of the form, there is a 'メッセージ' (Message) input field and a large text area for notes. The entire browser window is enclosed in a green border.

記録操作

マウスカーソルのイベント

原点 左上

X方向 座標 Y方向 座標

☐ ドラッグ中の軌跡も記録する

☒ 操作中の待機時間も記録する

キーボードのイベント

☐ 左右キーを区別して記録する

操作記録リスト

選択部アクション化 操作の削除

アクション化後停止

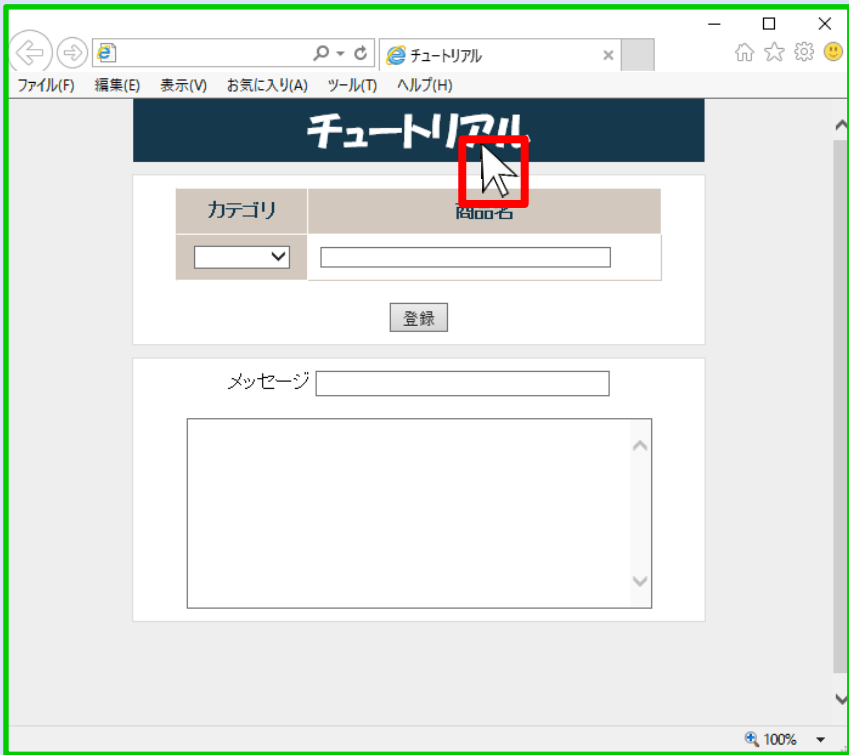
3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でチュートリアル画面のキーボード操作を記録します。

⑩「チュートリアルの文字上」でクリックします。

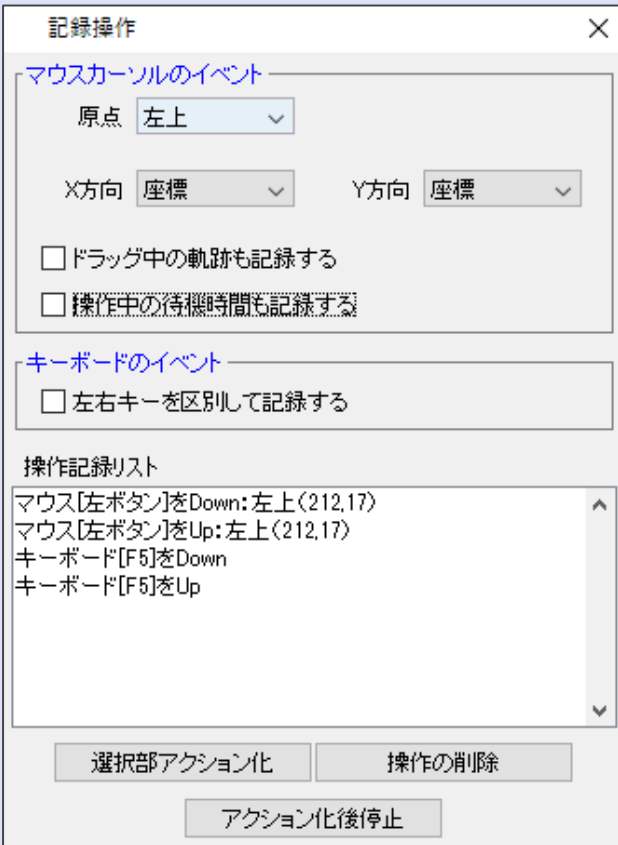
⑪「F5」キーを押下

⑩



The screenshot shows a web browser window titled 'チュートリアル'. The main heading 'チュートリアル' is highlighted with a red box. Below it, there is a 'カテゴリ' (Category) dropdown menu and a search bar. A '登録' (Register) button is visible. At the bottom, there is a 'メッセージ' (Message) input field and a large text area.

⑪



The '記録操作' (Record Operation) dialog box is shown. It has a title bar with a close button. The 'マウスカーソルのイベント' (Mouse Cursor Event) section includes a '原点' (Origin) dropdown set to '左上' (Top Left), and 'X方向' (X Direction) and 'Y方向' (Y Direction) dropdowns both set to '座標' (Coordinates). There are two checkboxes: 'ドラッグ中の軌跡も記録する' (Record trajectory during drag) and '操作中の待機時間も記録する' (Record waiting time during operation). The 'キーボードのイベント' (Keyboard Event) section has a checkbox '左右キーを区別して記録する' (Record left and right keys separately). The '操作記録リスト' (Operation Record List) shows the following actions: 'マウス[左ボタン]をDown: 左上(212,17)', 'マウス[左ボタン]をUp: 左上(212,17)', 'キーボード[F5]をDown', and 'キーボード[F5]をUp'. At the bottom, there are buttons for '選択部アクション化' (Convert selection part to action), '操作の削除' (Delete operation), and 'アクション化後停止' (Stop after action conversion).

3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でエミュレーションアクションを「シナリオ」に配置します。

⑫「記録操作」画面の「アクション化後停止」ボタンをクリックします。

⑬入力したキーボード操作が「フローチャート」画面に記録されます。

⑫

記録操作

マウスカーソルのイベント

原点 左上

X方向 座標 Y方向 座標

☐ ドラッグ中の軌跡も記録する

☐ 操作中の待機時間も記録する

キーボードのイベント

☐ 左右キーを区別して記録する

操作記録リスト

マウス[左ボタン]をDown: 左上(212,17)
マウス[左ボタン]をUp: 左上(212,17)
キーボード[F5]をDown
キーボード[F5]をUp

選択部アクション化 操作の削除

アクション化後停止

⑬

フローチャート

ノード 検索 サブルーチン ライブラリ

シナリオ

開始

グループ

リスト選択 (IE)

文字列設定 (IE)

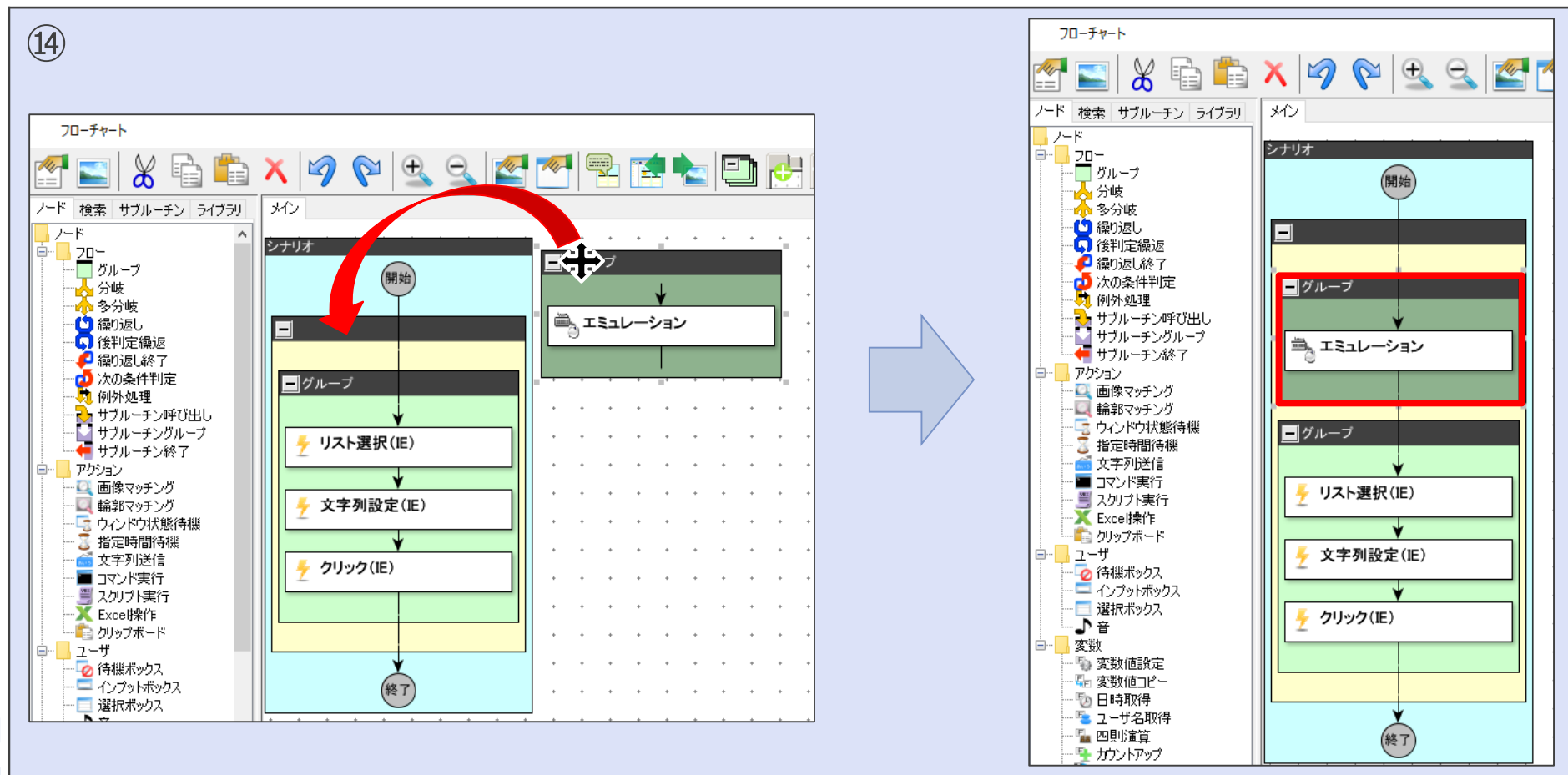
クリック (IE)

終了

3. 自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でシナリオ実行の準備をします。

- ⑭「エミュレーション」の入った「グループ」を「IEモード」で作成した「シナリオ」の上にドラッグ&ドロップします。




3.自動記録機能(エミュレーションモード)

●次の手順でシナリオを実行します。

⑮「メイン」画面の「実行」ボタンをクリックします。

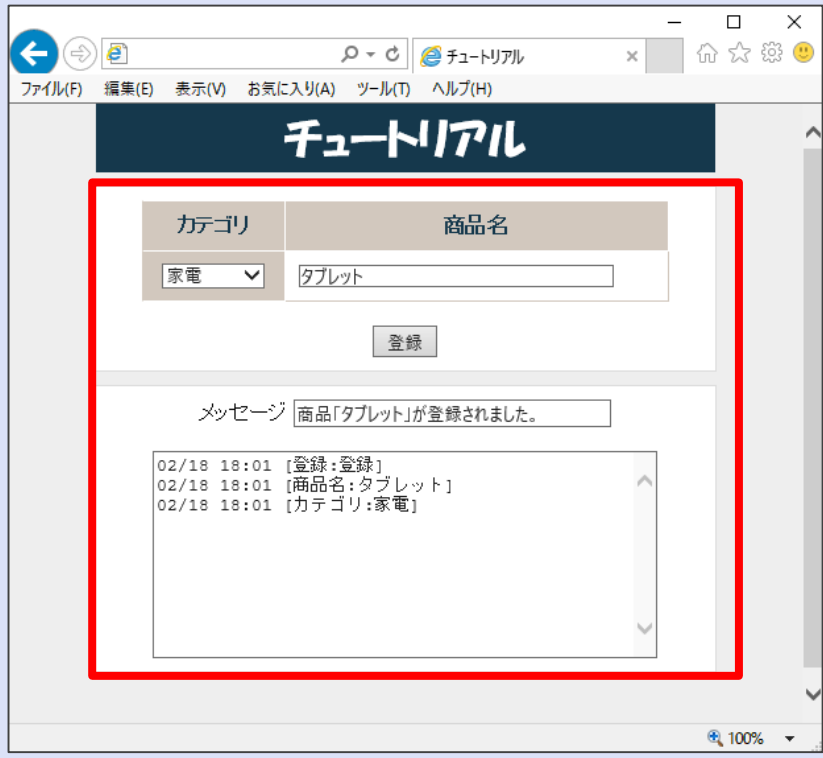
⑯キーボード操作を再現することによって、「チュートリアル」画面で初期化が行われた後、登録作業が行われます。

⑮



The screenshot shows the WinActor editor window titled '*新しいファイル [編集] - WinActor'. The '実行' (Execute) button, represented by a blue play icon, is highlighted with a red box. Below the button, the status bar indicates '記録を停止しました。' (Recording stopped).

⑯



The screenshot shows a web browser window titled 'チュートリアル' (Tutorial). The main content area is highlighted with a red box. It contains a registration form with the following fields:

カテゴリ	商品名
家電	タブレット

Below the form is a '登録' (Register) button. A message box displays: 'メッセージ 商品「タブレット」が登録されました。' (Message: Product 'Tablet' has been registered). A log window at the bottom shows the following entries:

- 02/18 18:01 [登録:登録]
- 02/18 18:01 [商品名:タブレット]
- 02/18 18:01 [カテゴリ:家電]

4.画像識別機能(画像マッチング)

- 4つのインターフェースのうち「画像識別型」に分類されます。
- 指定した画像を処理対象のウィンドウから検索し自動処理を行う機能です。
- 指定した画像と同じ形状のアイコンをクリックしたり、入力欄にカーソルを移動することができます。

4.画像識別機能(画像マッチング)

今回は、「チュートリアル.html」画面を使用し、画像マッチングでIE画面を操作するシナリオを作成します。
「登録」ボタンをクリックする操作をシナリオ化します。

The screenshot displays the WinActor software interface. The top window, titled '新しいファイル [編集] - WinActor', shows the '実行' (Execution) and '編集/記録' (Edit/Record) tabs. The main workspace is divided into three panes: a left sidebar with a tree view of actions, a central 'シナリオ' (Scenario) editor, and a right pane showing the target web page.

The 'シナリオ' editor shows a flowchart starting with '開始' (Start), followed by a 'グループ' (Group) containing an 'エミュレーション' (Emulation) action. This is followed by another 'グループ' containing three actions: 'リスト選択 (IE)' (List Selection (IE)), '文字列設定 (IE)' (String Setting (IE)), and 'クリック (IE)' (Click (IE)). The flowchart ends with '終了' (End).

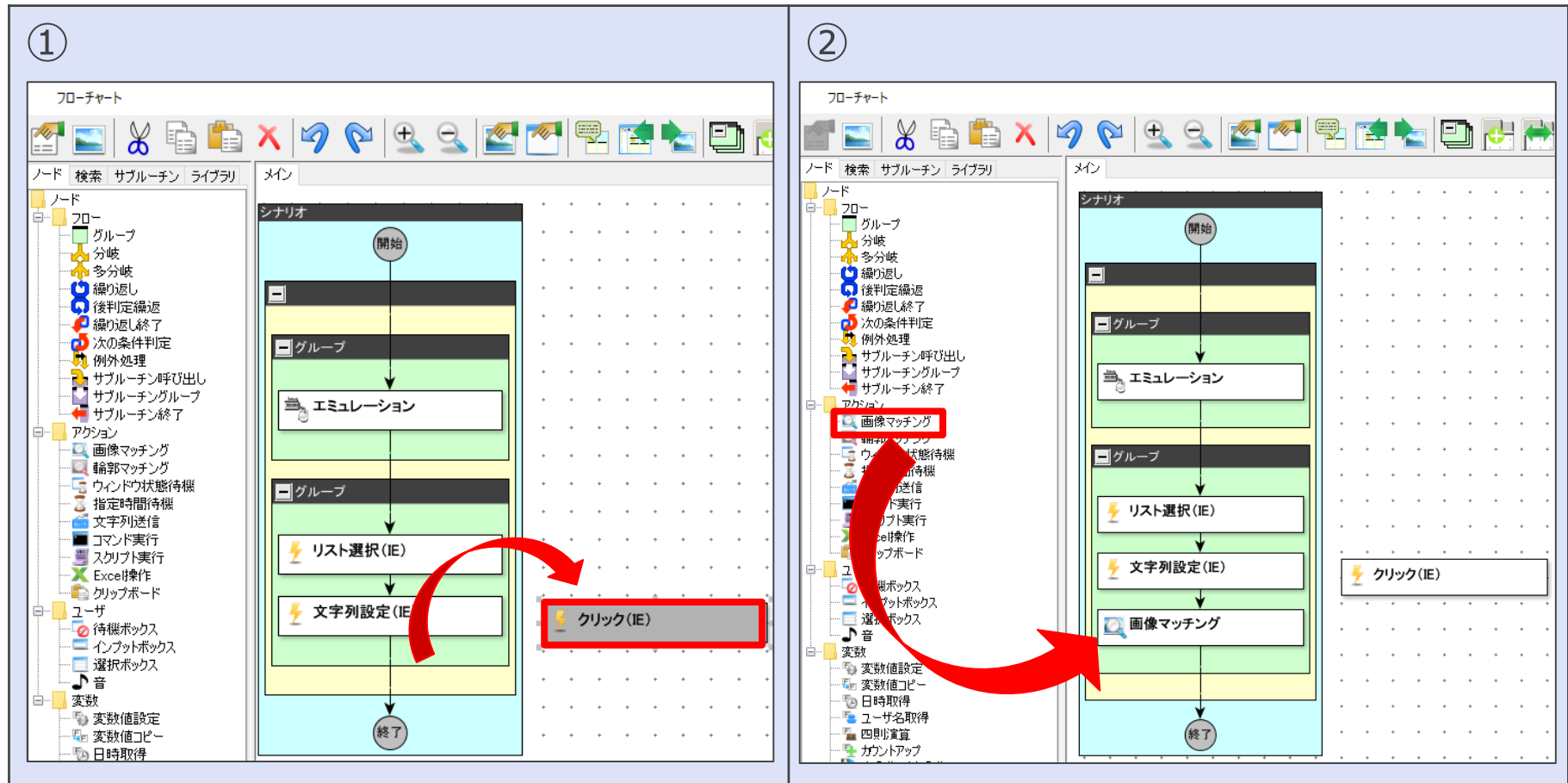
The right pane displays the 'チュートリアル' (Tutorial) web page. It features a form with 'カテゴリ' (Category) set to '家電' (Home Appliances) and '商品名' (Product Name) set to 'タブレット' (Tablet). A '登録' (Register) button is visible. Below the form, a message box states '商品「タブレット」が登録されました。' (Product 'Tablet' has been registered). A log window at the bottom right shows the following messages:

- 07/15 16:52 [登録:登録]
- 07/15 16:52 [商品名:タブレット]
- 07/15 16:52 [カテゴリ:家電]

4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でノード「画像マッチング」を配置します。

- ①「シナリオ」内の「クリック (IE) 」を「シナリオ」の枠外に出します。
- ②「ノード」パレット>「アクション」フォルダ>「画像マッチング」を「文字列設定 (IE) 」の下領域にドッグ&ドロップします。



4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順で「画像マッチング」の「プロパティ」画面を開きます。

③「シナリオ」内の「画像マッチング」をダブルクリックします。

④「画像マッチング」の「プロパティ」画面が表示されます。

③

The screenshot shows the 'シナリオ' (Scenario) editor. On the left is a tree view of the 'フロー' (Flow) containing various actions like 'グループ' (Group), '分岐' (Branch), 'エミュレーション' (Emulation), 'リスト選択 (IE)' (List Selection), '文字列設定 (IE)' (String Setting), and '画像マッチング' (Image Matching). The '画像マッチング' action is highlighted with a red rectangle. The main area shows a flowchart starting with '開始' (Start), followed by a 'グループ' (Group) containing 'エミュレーション', then another 'グループ' containing 'リスト選択 (IE)' and '文字列設定 (IE)', and finally '画像マッチング' before reaching '終了' (End).


④

The screenshot shows the 'プロパティ - 画像マッチング' (Property - Image Matching) dialog box. It has a 'マッチング画像' (Matching Image) field with a file selection icon. Below it are settings for 'ウィンドウ識別名' (Window Identification Name) and '即時' (Immediate). There are checkboxes for '実行時にマッチング画像を取得' (Get matching image at execution) and 'メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)' (Perform segmented matching to save memory). The '検索範囲の指定方法' (Search range specification method) is set to '原点 左上' (Origin Top Left). The 'マッチ率' (Match rate) is 100%, and 'タイムアウト' (Timeout) is 10,000 milliseconds. The 'アクション' (Action) is '状態チェック' (Status Check). The '状態取得結果' (Status acquisition result) is '変数名を選択' (Select variable name). The '操作位置' (Operation position) is empty. There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

4.画像識別機能(画像マッチング)

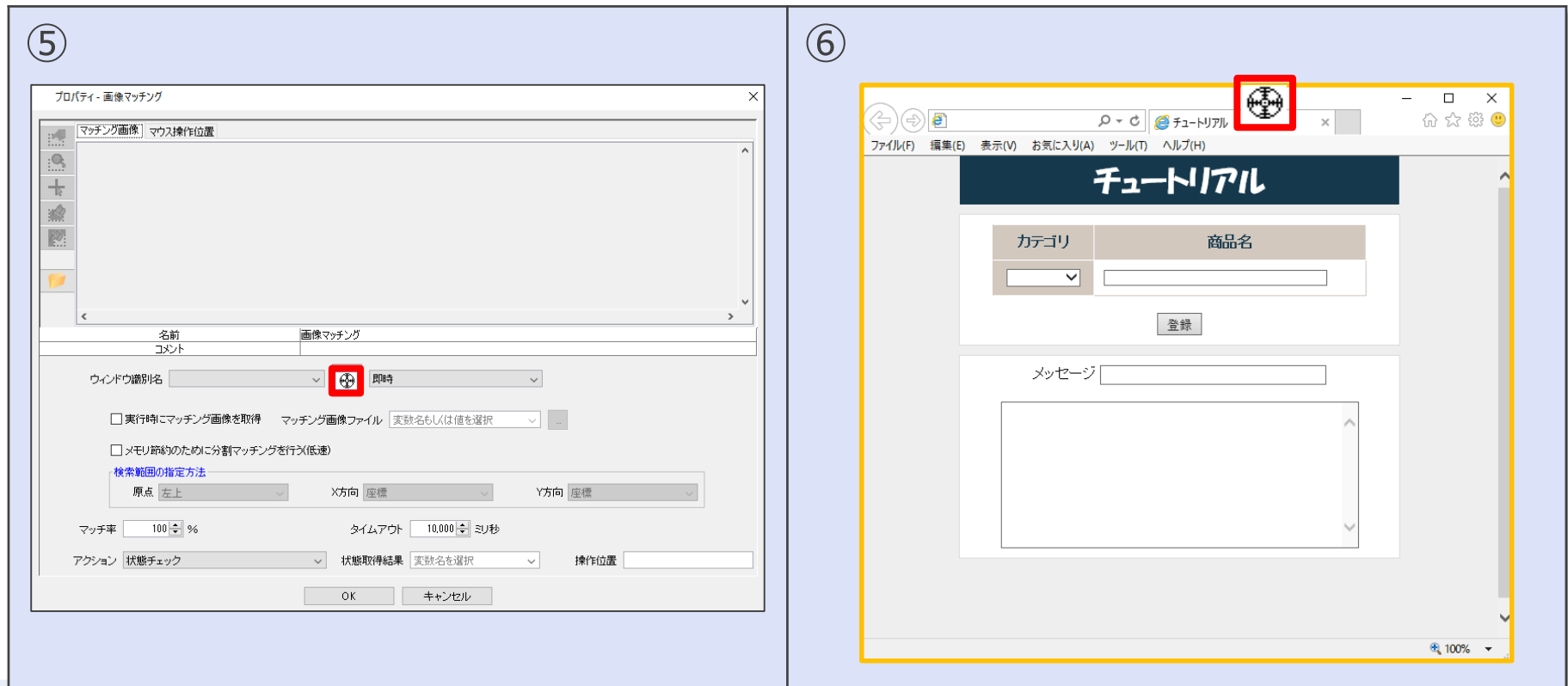
●次の手順で「画像マッチング」を行う画面を指定します。

⑤「プロパティ」画面の「ターゲット選択」ボタンをクリックします。

この操作によりマウスカーソルの形状が「」に変化します。

⑥「チュートリアル」画面のタイトルバーをクリックします。

※この操作によりマウスカーソルの形状が元に戻ります。

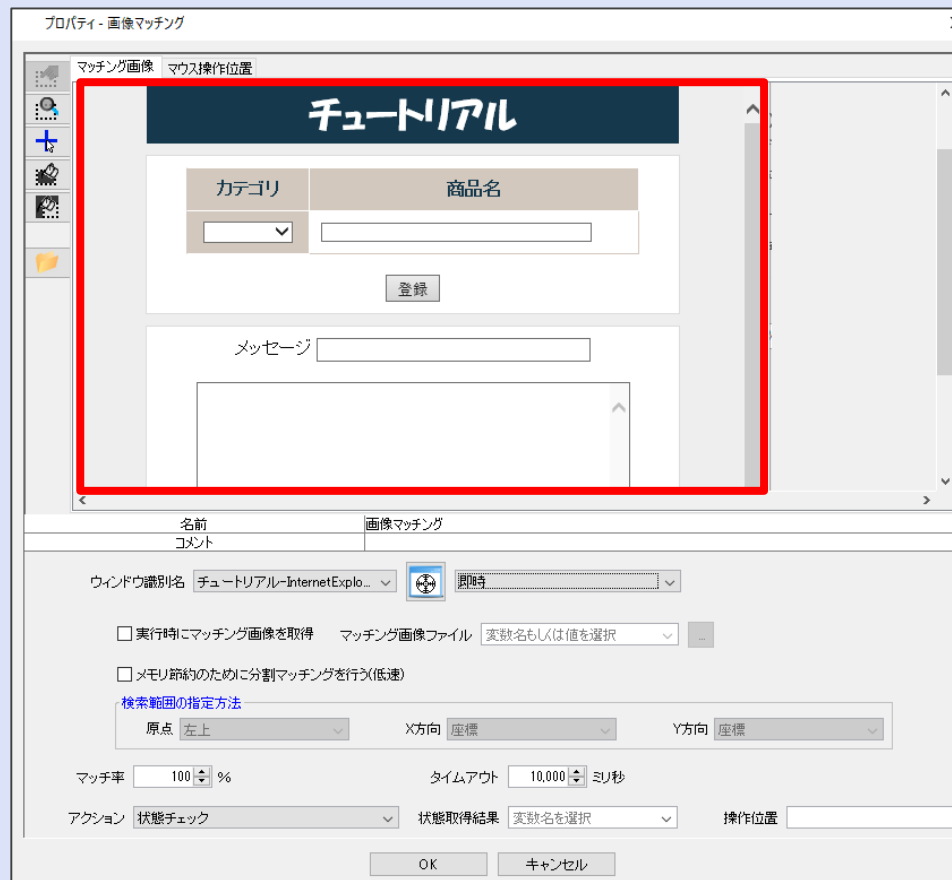


4.画像識別機能(画像マッチング)

- 画面キャプチャを確認します。

- ⑦「プロパティ」画面に「チュートリアル」画面のキャプチャ画像が表示されていることを確認してください。

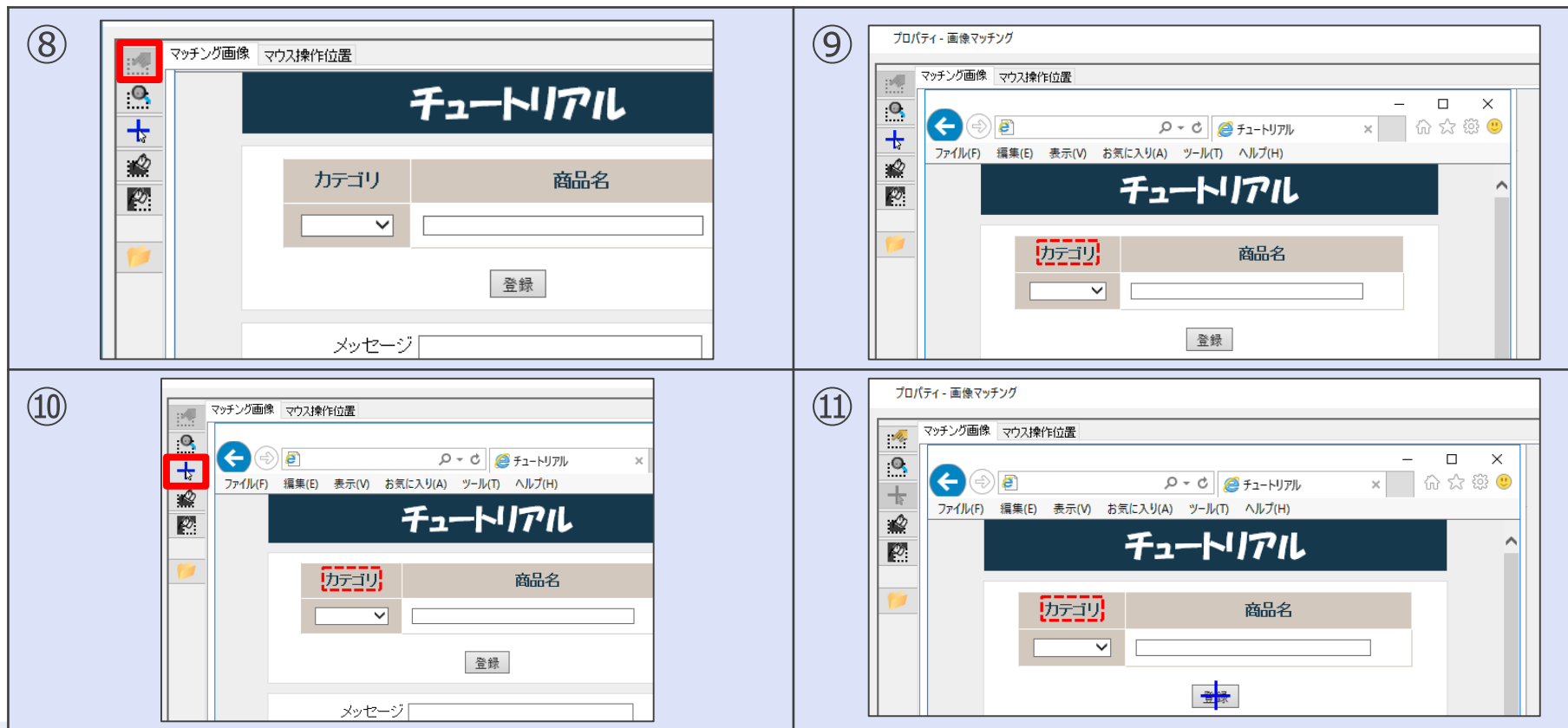
⑦



4.画像識別機能(画像マッチング)

●「プロパティ」画面でクリックする箇所を指定します。

- ⑧「マッチング画像」ボタンをクリックします。(デフォルトで選択されています。)
- ⑨画面キャプチャした画像の中からマッチングを行う画像の範囲を指定します。
- ⑩「マウス操作位置」ボタンをクリックします。
- ⑪画面キャプチャした画像の中の「登録」ボタンの上でクリックします。



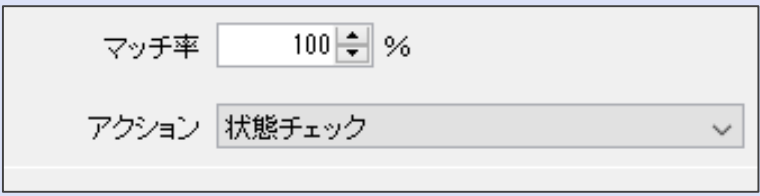
4.画像識別機能(画像マッチング)

●「プロパティ」画面で範囲指定した画像の場所をクリックする設定を行います。

⑬ 「アクション」から「左ボタンクリック」を選択します。

⑭ 「OK」ボタンをクリックします。

⑬



マッチ率 100 %

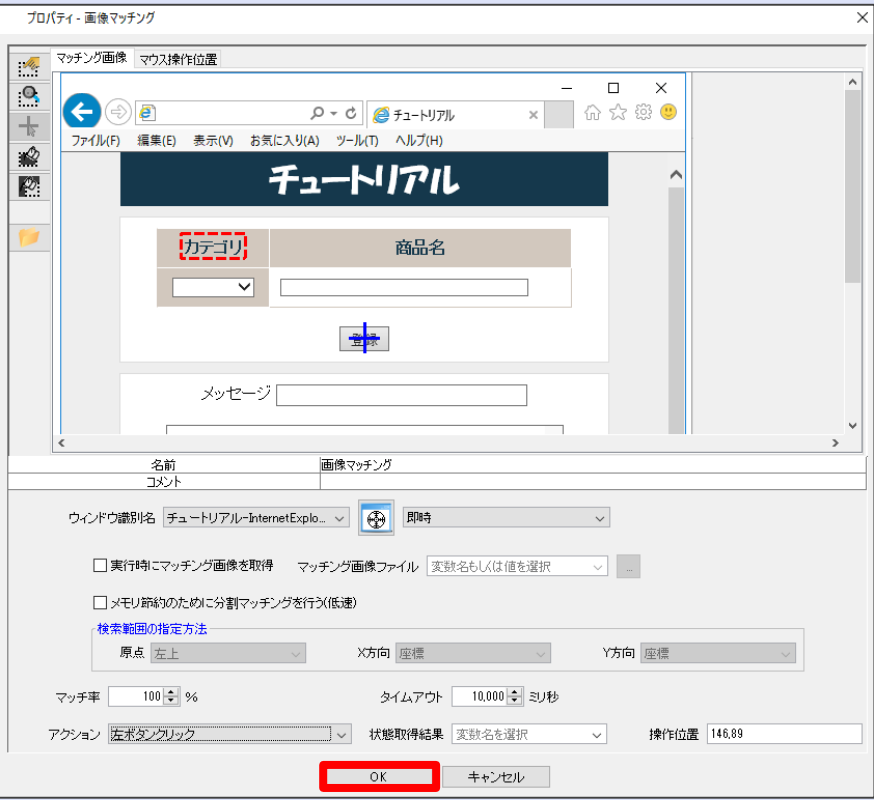
アクション 状態チェック

↓

マッチ率 100 %

アクション 左ボタンクリック

⑭



プロパティ - 画像マッチング

マッチング画像 マウス操作位置

チュートリアル

カテゴリ

商品名

メッセージ

名前 コメント

ウインドウ識別名 チュートリアル-InternetExplo... 即時

☐ 実行時にマッチング画像を取得 マッチング画像ファイル 変数名もしくは値を選択

☐ メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

検索範囲の指定方法

原点 左上 X方向 座標 Y方向 座標

マッチ率 100 % タイムアウト 10,000 ミリ秒

アクション 左ボタンクリック 状態取得結果 変数名を選択 操作位置 146.89

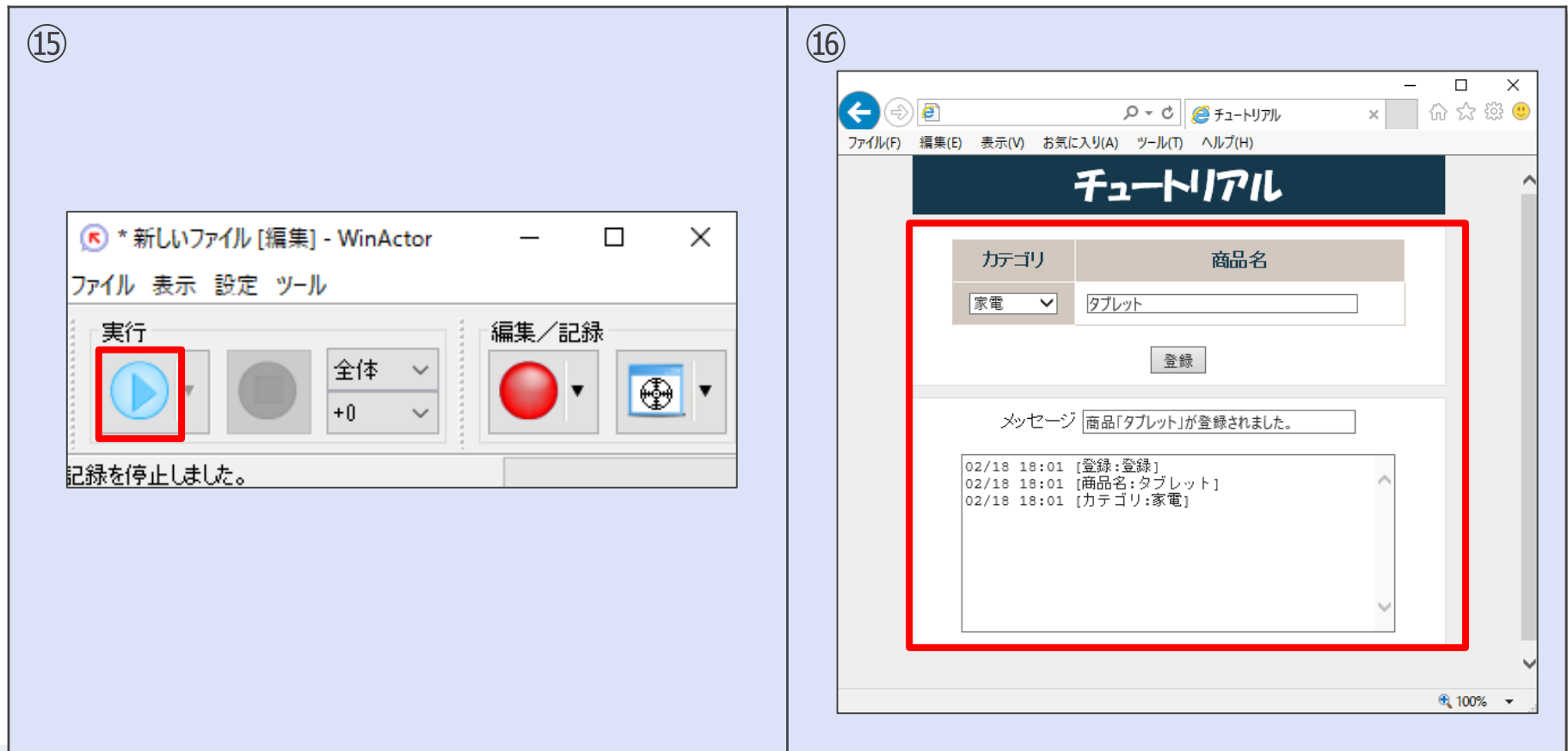
OK キャンセル

4.画像識別機能(画像マッチング)

●次の手順でシナリオを実行します。

⑮「メイン」画面の「実行ボタン」をクリックします。

⑯「登録ボタン」がクリックされ、「登録結果」が記録されます。



5.WinActor実践ガイドの ご紹介

5.WinActor実践ガイドのご紹介



本書のポイント

学びやすいサンプル付属でらくらくマスター
受発注Webシステムを例に、使いこなし方を解説
v6の目玉機能も詳しく解説しているから安心

価格

本体 **¥1,850** +税



<https://www.amazon.co.jp/dp/4295007536>

Amazonでのご購入はこちらからどうぞ!

絶 賛 発 売 中 !

日常業務をRPAで楽しく自動化 WinActor® 実践ガイド WinActor v6対応

- WinActorで業務を自動化する方法について「Webベースの受発注システム」を例に操作と使いこなしのポイントを解説
- エラー処理や変数、文字列操作といった作業に役立つライブラリを数多く紹介
- 専用のサンプルHTMLが用意されていますので、繰り返し試しながらシナリオ作成を学ぶことができます
- WinActor v6.1の目玉機能であるメール受信機能やGoogle Chromeでのデータの取得方法も詳しく解説
- WinActorのシナリオを手直ししたり、再編集したりして業務を自動化したい方やシナリオ作成に利用するライブラリを手早く参照したい方におすすめです

